

平成25年度 第7回端野まちづくり協議会開催結果について

| | |
|------|--|
| ◎日 時 | 平成25年11月14日(木)午後6時30分～午後7時50分 |
| ◎会 場 | 北見市端野総合支所1階 会議室1・2 |
| ◎出席者 | 北川正美会長、岡村廉明副会長、鹿野内みゆき委員、河端文雄委員、 笹木健生委員、柴田登与志委員、日置英俊委員、保里隆道委員、 松崎常雄委員、水口 馨委員、村本慧乃委員、森谷幸弘委員、 渡辺まゆみ委員 計13名 |
| ◎北見市 | 藤澤自治区長、菅原保健福祉課長 |
| ◎事務局 | 原田総合支所長、品田教育事務所長、上銘総務課長、田中地域振興 担当係長 |
| ◎傍聴者 | 4名 |

【意見交換・主な内容】

1. はじめに

原田総合支所長 : ただいまから、第7回端野まちづくり協議会を開催いたします。

このたび11月1日付けの人事異動により、職員の異動がありましたので、報告いたします。10月31日付けで保健福祉課の川島課長が退職し、11月1日付けで新たに保健福祉課長に菅原課長が就任しましたので、一言挨拶をいたします。

菅原保健福祉課長 : 就任挨拶

原田総合支所長 : ここで菅原課長は退席します。

原田総合支所長 : 北川会長よりご挨拶いただきます。

北川会長 : 皆さん、こんばんは。

今日は暖かいです。先日までは寒い日が続きました。初雪も降りました。

師走になり何かと慌ただしい時節となりました。

交通安全には十分に気をつけていただきたいと思います。

夜分遅くにお集まりいただきありがとうございます。

本日は端野自治区内事業の今後のあり方についての答申書(案)について、皆さんからご意見をいただきながら会議を進め、まとめていきたいと思っております。

この答申については、11月25日に市長に答申する予定になっておりますので、よろしくお願いたします。

- 原田総合支所長 : 続いて、藤澤自治区長から行政報告をいたします。
- 藤澤自治区長 : 自治区関連の行政報告
- 原田総合支所長 : これからの会議の進行につきましては、会長にお願いしたいと存じますので、よろしくお願いいたします。
- 北川会長 : それでは、会議に入ります前に、会議の成立について事務局から報告がございます。事務局報告願います。
- 事務局 : 本日の出席委員数は、正副会長を含め、15名中13名でございます。北見市自治区設置条例第7条第3項の規定に基づき、半数以上の出席がありますので、本日の会議が成立いたしますことをご報告申し上げます。
なお、今村委員・水野委員につきましては所用があり欠席する旨の報告がありました。
- 北川会長 : 先ほど、自治区長から行政報告が行われましたが、委員の皆さんからご質問などございませんか。
- 委員 : ありません。
- 北川会長 : それでは、行政報告については、以上で終わります。

2. 議題等

- 北川会長 : 続いて、次第の2. 議題等の『端野自治区内事業の今後のあり方について』答申書（案）に入らせていただきます。
事務局から「答申書（案）の概要」について、説明をお願いします。
- 事務局 : 概要説明
- 北川会長 : ただいま、説明をいただきましたことについて、ご質問、ご意見はございませんか。
- 委員 : ありません。
- 北川会長 : 質問、意見がないようですので、「答申書（案）の概要」については、以上で終わります。

この答申書（案）は、今まで検討した内容を考慮し、今回提案しています。

答申書（案）につきましては、事前に目を通していただいておりますが、確認の意味で、ここで本文につきまして岡村副会長より朗読させます。

それでは、岡村副会長お願い致します。

岡村副会長 : 答申書（案）朗読

北川会長 : ありがとうございます。今、朗読をいただきました答申書（案）について、皆様のご質問・ご意見等をいただきたいと思います。何かございませんか。

水口委員 : 全体的には、このような内容になると思います。しかし、きれいに書き過ぎて北見文学になっています。

実は、北見道路が開通して、ビートの搬出のピークを迎え大型車両の通行量が増えています。また、緋牛内や美幌方面の交通量も以前よりも増加しています。北見道路の開通により、明らかに川向周辺の交通量は増加しました。

事故が起こらなければ良いと思いますので、交通安全対策の充実を願います。答申書での文章化は任せます。

北川会長 : 今、水口委員が発言されたように、今年から協和のビート用土場が廃止され、直接、工場に搬入することになり、大型車両の交通量が増えたのは実感しています。文章化の仕方はらせていただきたいと思います。

田中地域振興担当係長 : 貴重な意見をいただきましたので、答申書への掲載について検討させていただきます。

河端委員 : 今回の答申書には、入らないかも知れませんが、世界的な気候の変化により、今後、現在の異常気象が普通の気候になるのではないかと思います。河川改修など現在の課題を解消することも必要ですが、新たに中・長期的な視点に立った施策が必要であると感じています。

田中地域振興担当係長 : 職員の新たな視点の中で事業を進めるためにも、答申書への掲載について検討させていただきます。

水口委員 : 毎年、発言していますが、端野自治区内でのハード的な事業については、かなり計画通り進んできています。懸案事項として、端野図書館と中央橋の改築などがあります。また、歴史民俗資料館についても展示方法の工夫などが必要であると考えます。手が回らないのが現状だと思いますが、ぜひ、工夫してほしいと思います。

ハード事業として大きな課題である端野図書館・中央橋は要望事項として答申書に入れてほしいと思います。

田中地域振興担当係長 : 旧端野町時代からの懸案事項であり、答申書への掲載について検討させていただきます。

松崎委員 : 端野小・中学校が新しく移転改築になりますが、移転後の旧校舎の利用について、われわれも考えていかなければいけないと感じています。今の旧中学校校舎のように置いておくことは良くないと思います。

田中地域振興担当係長 : 跡地利用は以前から話題になっていた経過もあり、協議する必要があると感じています。

しかし、所管する担当部もありますし、答申書の中で意見として掲載することができるかを検討したいと思います。

原田総合支所長 : 学校跡地の関係ですが、校舎は危険校舎と位置付けられており、解体する考えです。

また、跡地利用については、一昨年の答申書にも記載しましたが、交通の要であり、管内的にも重要な場所と考えています。全体の面積で10町ほどあり、端野自治区の施設というよりは、北見市全体の施設として活用を考えたいと思います。以上の考えの延長上で答申書への記載を考えたいと思います。

北川会長 : 他に何かございませんか。

委員 : ありません。

北川会長 : 答申については、11月25日に3自治区合同で行うことから、委員の皆さんからいただきました意見につきましては、事務局において整理し、会長・副会長に一任していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

委員 : 異議なし。

北川会長 : 一任していただき、ありがとうございました。

3. その他

北川会長 : 本日の議題でありました協議案件を終了しました。
他に何かありませんか。

品田端野教育事務所長 : 端野小学校改築事業について概要説明

北川会長 : ただいま、品田所長から説明がありましたことについて、
ご質問、ご意見はございませんか。

渡辺委員 : 中学校には図書室がありますが、小学校では図書コーナー
となった理由は何ですか。

品田端野教育事務所長 : 利用のしやすさからオープンスペースの図書コーナーを考
えました。開かれた図書コーナーという位置付けになっています。

渡辺委員 : 現在の端野小学校と書籍数は同じくらいですか。

品田端野教育事務所長 : 同程度となります。

水口委員 : 災害が発生した場合は、避難所となりますか。

品田端野教育事務所長 : 避難所になる予定です。防災の備蓄庫も設置されます。

原田総合支所長 : 避難所の指定については、端野、二区、三区の各自治連と
協議させていただき、新しい端野小・中学校をメインの避難
所とする予定です。それに対応するような備蓄庫、貯水槽や
電源等を用意しています。

日置委員 : 小学校でも本格的な英語教育が開始されますが、なか
なか良い発音をする先生がいないと聞いています。せっかく
校舎を改築することから、英語教室を設置し、特色ある英
語教育ができる環境をつくる必要があると思います。

品田端野教育事務所長 : 小学校の英語教育では、英語指導助手が派遣されていま

す。施設の詳細は決まっていますが、英語教育の重要性は認識しています。

渡辺委員 : 体育館ですが、端野中学校体育館の2階にある通路には、校舎から出入りができませんが、小学校の通路はどのようになりますか。

品田端野教育事務所長 : 校舎からの出入りはできますが、体育館管理用としての位置付けです。

渡辺委員 : 体育館の夜間の一般開放は行う予定ですか。

品田端野教育事務所長 : 現在は一般開放を考えていませんが、ミーティング室から出入りすることはできます。

渡辺委員 : 今後は一般開放が行われると考えてよろしいですか。

品田端野教育事務所長 : 現時点では考えていません。体育館の出入口の使用目的は、外のグラウンドへ行く場合に使用することを想定しています。

岡村副会長 : 一般教室は9教室と説明していましたが、現状との比較はどうですか。

品田端野教育事務所長 : 現状より1つ少なくなっています。児童数の推移によるものです。

渡辺委員 : 児童数は減少しますが、体育館の面積はどのようになりますか。

品田端野教育事務所長 : 9教室しかありませんが、生徒数などの基準で面積が決められているので、多少、今の小学校体育館よりも小さくなる予定です。

森谷委員 : 給食運搬用ブリッジの関係ですが、通常子どもたちは通行できますか。また、高さの関係で、大型除雪車が通行することができますか。

品田端野教育事務所長 : 給食を運搬するためのブリッジであり、通行はできません。13トンの大型除雪車は通行できません。

森谷委員 : 中学校裏にある野外トイレは今まで通り使用できますか。

品田端野教育事務所長 : 今まで通り使用できます。

北川会長 : 他に質疑はございませんか。

委員 : ありません。

北川会長 : それでは、端野小学校改築事業については、以上で終わります。

次に、その他として委員の皆様から何かございませんか。

委員 : ありません。

北川会長 : なければ、事務局から何かございませんか。

事務局 : 次回、協議会ではありますが、1月下旬を目途に開催したいと考えています。

事務局からは以上です。

北川会長 : 以上をもちまして、第7回端野まちづくり協議会を終了いたします。最後に岡村副会長から挨拶をいただきます。

岡村副会長 : お疲れのところ、大勢の方にお集まりいただきありがとうございます。ございます。

先日、テレビで政治討論会を行っていました。その中で「由らしむべし、知らしむべからず」（孔子の論語）を引用していましたが、意味には諸説ありますが、「頼らせておくのは簡単なことだ。住民に詳しくきちっと知らせることは難しいことだ」という意味があるそうです。

私たちが、「市政の中に参画する」、「まちづくりを考える」中で、やはり内容について、しっかり知ることが大事だと思います。財政面はもとより、「なぜそのことが必要なのか」や「どのように波及効果があるのか」などをある程度知った上で、話し合いができたらと思います。

今日はたまたま暖かい日でした。農作業も大詰めですが、事故のないように気をつけていただきたいと思います。

また、元気でお会いしましょう。

お疲れ様でした。

北川会長 ： 以上で終了いたします。

午後7時50分 終了